

イベント名称	令和6年度 社会教育関係者ネットワーク事業・全体研修会
会場名	県庁講堂棟 講堂
開催日	令和6年6月21日(金)
対象者	社会教育委員、社会教育主事および社会教育主管課担当職員 公民館等社会教育施設の社会教育行政職員、三重県社会教育研究会(員)
参加者数	83名
活動内容/ 報告	<p>例年、三重県社会教育委員連絡協議会(以下「三社連」という。)の総会後に開催する三重県社会教育全体研修会(三社連と県教委の共催)を、今回は社会教育関係者の情報交流をとおして、関係者のつながりを形成することで、地域の社会教育活動の活性化や、次代の人材育成を図るために、県教委が始める「社会教育関係者ネットワーク」を取り入れて行った。</p> <p>最初に三社連の山口 恵照会長からご挨拶をいただき、岡島 久美子リーダーから三重県社会教育委員全体研修会の令和5年度の報告と令和6年度の研修について説明いただいた。</p> <p>次に、三重県社会教育委員である池山 敦委員(皇學館大学)から、今年度から県教委が取り組む「社会教育関係者ネットワーク」の必要性などを説明いただいた(動画上映)。</p> <p>最後はメインであるグループによる交流会を、三社連の田口 鉄久顧問にファシリテートしていただき、グループ内の関係者同士で名刺を交換しながら自己紹介し、「日頃心掛けていること」、「活動して困ったこと」、「連携強化(ネットワーク化)に向けてできること」について話しあった。11グループの中から3グループを、全員の前で代表として発表していただいた。</p> <p>「研修会の満足度」を問うアンケートでは、「満足」と「どちらかという満足」を合わせた割合は約96%であった。</p> <p>また、「活動や話し合いを通して、市町や所属、役職などの枠を超えた交流ができた」との感想をいただいた。</p>
主催団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県社会教育委員連絡協議会 ・三重県教育委員会

会場の様子



4班のまとめ

4班 取組 日頃心がけていること

- ・(公) 地域の拠点として活動していく所
地域学校協働活動のCoEしている
地域で子どもを育てる ← いろいろイベントの中で作り出している
地域の人材のネットワーク
↑ すぐいらい(川公)
- ・公を利用していない人が公の役割や意義と(社務) 地域「保着者」先生
知ることが大事では。
- ・(公) ↔ 社務委との連携を
- ・(社務) それぞれの組織の代表が集まる場がある。そこで どんぶり育てるか... と話し
ている。→ つながり、動きに。

津中央公で遊ぶの企画
大学との連携あり
②(公)と子どもに知ってもらおう
→ 将来につながる

- ・大学との交流 大事
- ・(事) 施設の老朽化 (利用頻度に差あり)
使えば、ほど地域では使っていない
社務につなげていければ。
- ・(公) イベントないところも...
もともと地域のつながりがあれば。

連携強化に向けて
何ができる？

- ・(公) 松阪いい例が... 住民協会の(公)を運営
・(松阪) 例が... いい例かどうか...? (おれ)
- ・学校運営協会のメンバー 地元各面の主
この方たちどうして
つながる
- この人たちをつなぐ
人材活用
- ・学校は、地域の支援を望んでいる。
社会教育という意識はない。
言葉は、意識はない...
- ・誰が? いつ? どこで せざる?
連携強化について考え 議論する?
これを考えるなど
- ・情報を集める。情報を発信する
そこから交流が生まれるのでは。
- ・(公) 何をしているか。
- ・いろいろな分野あるけど
つなぎたい。つなげるのは
社会教育

津(社務) つしと
(鳥羽) 事) さりとく
(三橋) 研) き
(津公) 松本
(川越) 出口
(鈴) 社務) 村田
(桑) 事) やすい
(社研) 田中

・(事) 施設の老朽化
予算の獲得がむずかしい
・(社) 講座 イベントが盛り
上がりは...
子育て → 高齢者
この間が括けてる
担い手不足 活躍の場
報の時から。

・(社務) (まじり)
懇と一緒: Xmas会... と企画
け、こういいよ